

# パンタナール通信

南北米福地開発協会

会報

2007年12月1日

51号

## パンタナール湿地帯で 創造主の偉業に触れよう エコツーリズムの勧め



パンタナール湿地帯



魚を求めて池に来るカaiman

ブラジル国営研究機関イ・プラ・パンタナール研究所（コルンバ市）によると、パンタナールではこれまで鳥類六百六十五種、魚類一百六十一種、哺乳類九十五種、爬虫類百六十二種、両生類四十種の動物と約二千種の植物の存在が確認されている。パンタナール観光は豊かな生態系の観察とバラグアイ川での釣りを楽しむ事ができます。ベストシーズンは乾季（六月末から十月）で徐々に水も減水し、その過程で出現する無数の池に魚が集中し、その魚を目当てに集まるトユユや白鷺などの鳥類やカaiman（ワニ）、水を求めて集まるカピバラなどの動物を観察することができます。

## パンタナールエコツアーの特色

パンタナールはアマゾンと並ぶ生態系の宝庫で、豊かな生命を育んでいる。アマゾンは豊かな動物種が生い茂った原生林の中に生息し、観察には困難が伴う事が多いがパンタナールは湿原地であるので比較的、鳥類、希少動物の観察が容易である。特に多様な鳥類を観察するバードウォッチングは魅力的である。また、湿原に出来た池に取り残された無数の魚を食料とするカaimanや水を求めて池に集まるカピバラの家族、野生のイノシシの群れ、コアリクイ、オオアリクイ等を身近に見ることが出来る。特に南北米福地開発財団が開拓するパンタナール湿原地の南端に属するレダの地は八年前から日本からのボランティアが自然と調和した工コの環境を作つており、安全にツアーに参加したゲストが自然を楽しむ事ができる。

### トユコの巣



今まで二回ほどレダへのエコツアーを行なつて、大きな成功を納めてきた。

パラグアイ川の支流をアルミの小さな船での船旅は人の手の入らない原初のままの自然に触れ、群がるトユコや川に泳ぐカaimanを観察し、美しい自然の景観の中でのひと時は創造者の創造の偉業を肌で感じ、敬虔な心が自然と湧きあがつて来ます。

朝陽、夕陽の美しさ、都会の空気と違い汚れの無い夜空の星の輝きの余りの美しさに時間を忘れるほどです。また、パラグアイ川は魚の宝庫で釣り人には大きな魅力です。特に金色の魚、ドラドが釣れる事も魅力的です。

来年から本格的にエコツアーの企画を立て、その為の準備を進めていきます。エコツアーの目的は環境との調和を重視、野生の自然や環境を破壊せずに、自然や文化を楽しむことにより、自然保護地域のために、十分な資金を生み出し、地域社会に雇用の機会を創出するとともに、旅行者に自然保護の大切さを理解してもらう事です。

エコツアーは南北米福地開発財団の重要な目的の一つです。



温暖化のメカニズムと原因

(環境省資料を引用して出題)

Q 次の文中の(1)～(8)のカッコに適切な単語を入れてください。

地球は、(1)からのエネルギーで温められます。暖められた地球からも熱が放射されます。大気に含まれる二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)などの(2)ガスは、この熱を吸収し、再び地表に戻しています(再放射)。そのおかげで、地球の平均気温は(3)と、人間を始め生物が生きるのに適した環境が保たれています。

このように、温室効果ガスは、本来無くしてはならないものです。しかし、一七五〇年頃から始まつた(4)以降、人間は石油や石炭などの化石燃料を大量に燃やして使うことで、大量の二酸化炭素を出すようになりました。昔は、二酸化炭素は(5)や海に吸収されることで、地球全体でバランスがとれていました。しかし、(6)の排出する二酸化炭素が急に増えたため、近年、大気中における二酸化炭素濃度は増え続けています。二〇〇〇年には約三七〇ppmに達し、このまま(7)や石炭を使い続けねば、二一〇〇年には、一〇〇〇ppmを超える可能性もあります。

気温もどんどん上がっています。二十世紀の一〇〇年間に、地球の平均気温は、(8)上がりました。一九九〇年代の一〇年間は、過去一〇〇〇年で最も温暖な一〇年となり、一九九八年には観測市場最高気温を、また、二〇〇一年には二番目、二〇〇三年には三番目、二〇〇四年は四番目の気温を記録しました。(大気中の二酸化炭素の増大と地球平均気温の上昇が比例して増え続けています)。

解答 (1) 太陽、(2) 温室効果、(3)十五、(4) 産業革命、(5) 植物、(6)人間、(7) 石油、(8) 0.6

飯野貞夫事務総長

ジェームス キング著(草思社)

「中国が世界をメチャクチャにする」より

「中国の台頭が世界の森林に与える影響は更にはつきりしている。一九九八年、上流の慢性的な森林破壊が原因の一つとされた揚子江の氾濫をうけて、中央は伐採を厳しく制限した。その一方で、中国の家具製造ならびに製紙業は世界最大となつた。この二つの産業が発展した結果、中国は世界で群を抜いて急成長する木材と紙パルプ市場となつた。一九九七年から二〇〇三年に、木材の輸入量は一二六〇万立方メートルから四〇二〇万立方メートルへ、紙パルプの輸入量は木材担当で二七六万立方メートルから六六五〇万立方メートルへ激増した。

この猛烈な欲求の影響で、世界の原始林は

ますます破壊されている。インドネシア、ミャンマー、中央アフリカの熱帯雨林、そしてシベリアの北方林という、二酸化炭素を酸素に変える役割から、地球の肺と言われる土地が中国の需要を満たす為に、かつてないペースで消えつつある。伐採された森林は、極寒のツンドラで育つのに四〇〇・五〇〇年はかかるはずの再生不可能な資源である」

「だが地球環境を損なう可能性という点では、大豆の需要には木材に劣らず有害な影響がありそうだ。大豆の産地がほぼ集中している北部の省の水不足で生産が減少した上に、人口増で需要は激増した。その結果、輸入が急騰し、大豆の国際市場の周縁にいた中国は、一〇年のあいだに、他の追随の輸入国に変わつていた。ブラジルの農家は中国の飢餓を許さないトップの輸入国に変わつて、アマゾンの熱帯雨林を伐採し新たに作った煙で大豆を栽培した。二〇〇四年のアマゾン流域の開拓率は史上二番目の規模だつた。二万五九〇〇平方キロメートルへ激増した。



## パンタナールエコツアーの写真



2008年4月25日ー5月5日  
パンタナールエコツアー  
詳しくは来月号に掲載します。



三ページからの続き  
の広さが伐採された。一分当たりサッカ  
場六面の割合で森林が消えた勘定だ

ほぼベルギー



釣果: 真鯛、石鯛、イナダ、ソーダ  
鯉、カサゴ、鰯、ふぐなど大きさで  
は、山本力男さんがイナダの大を、  
息子さんが真鯛の大を釣り上げた。

第一回釣り大会 (10/28、  
沼津港) 台風一過とはよく言った  
ものです。昨夜まで激しく降って  
いた雨が嘘のように空は殆ど雲が無  
い快晴の朝を迎えました。



南北米会員親睦会  
富士山を見ながら釣りを沼津で楽しむ

## 一日環境セミナー御案内

日時 二〇〇七年十一月十六日  
場所 南北米福地開発協会 事務局  
参加費 一千円(昼食付き)

研修内容  
午前中  
午後  
『温暖化対策における植樹活動の意義』  
地球の緑を守る会 事務局長 戸石文夫

『パンタナールエコツーリズムの魅力』  
南北米福地開発協会 事務局長 柴沼邦彦

南北米福地開発協会 事務局  
〒113-0001  
神奈川県川崎市高津区  
溝口三十一岩崎ビル四F  
044-1819-1281  
0177-680471  
FAX 018-0177-680471  
電話 044-1819-1281  
会費納入 郵便口座 819-1281-0  
一〇一八 〇一七七六八〇四七一  
代表 柴沼邦彦

E-MAIL office@asd-nsa.jp  
ホームページ  
<http://www.asd-nsa.jp>